


 今年のインフルエンザワクチンは?	1ページ
 こんなことしてます三重病院「ふれあい祭りレポート」「津まつり・津青年会議所高虎太鼓の演奏会」	2ページ
 糖尿病ワンポイントアドバイス／今月のイチオシ図書／「糖尿病教室11月」のお知らせ	3ページ
 アレルギー教室のクッキング／外来からのお知らせ／外来診察のご案内	4ページ



インフルエンザ。昨年の今頃は大変でしたね。さて、今年はどうなるのでしょうか？
まず、今月は気になるワクチンのお話から。

昨シーズンはブタ由来の新型インフルエンザウイルスが世界中で流行しました。当院でも昨年の今頃は、多くの子どもたちがインフルエンザウイルスによる肺炎や脳症で入院しましたが、全員元気に退院しました。

昨シーズンは季節性インフルエンザワクチンと新型インフルエンザワクチンの2種類のインフルエンザワクチンが準備されました。多くのおとなの方は2回、13歳未満の子どもは4回インフルエンザワクチンを受けられたことと思います。

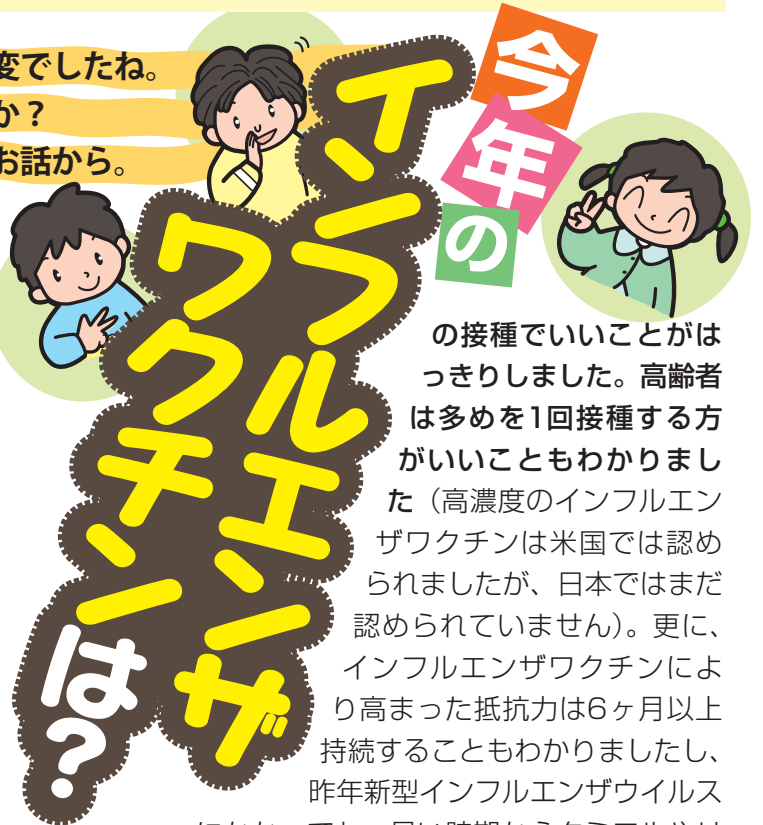
さて、今年はどうなるでしょう？

現在、人の間で流行るインフルエンザウイルスは、A(H1N1)亜型、A(H3N2)亜型、B型の3種類です。昨シーズンの新型インフルエンザウイルスも一昨年まで流行していたAソ連型ウイルスも、亜型とともにA(H1N1)です。今年は、新型インフルエンザウイルス由来のA(H1N1)と、A香港型であるA(H3N2)の流行が予測されています。しかも流行が予測されているA香港型は、一昨年までのA香港型と大きく変異したウイルスが出現すると予測されています。

しかし、安心してください。今シーズンの季節性インフルエンザワクチンには、昨年人の間に出現した新型インフルエンザウイルス、大きく変異したA香港型ウイルスおよびB型の3種類のウイルスが含まれています。

さて、何回接種を受ければいいでしょう？

昨シーズン、新型インフルエンザワクチンの研究から、13歳未満の人は2回、13歳以上の人は1回



の接種でいいことがはっきりしました。高齢者は多めを1回接種する方がいいこともわかりました（高濃度のインフルエンザワクチンは米国では認められましたが、日本ではまだ認められていません）。更に、インフルエンザワクチンにより高まった抵抗力は6ヶ月以上持続することもわかりましたし、昨年新型インフルエンザウイルスにかかっても、早い時期からタミフルやリレンザの治療を受けた人は、抵抗力の上がりが低いこともわかりました。

今シーズンは、いつからインフルエンザが流行るかは予測がつかません。しかし、今シーズンもいつかは流行ると予測されています。

今シーズン、インフルエンザにかかりたくない、かかっても軽くすませたいという人は、今シーズンもインフルエンザワクチンを受けて下さい。私たち病院で働く職員は、自分たちからハンデイキャップを持った人達にインフルエンザウイルスを感染させないよう毎年インフルエンザワクチンを受けています。

ハンデイキャップを持った人達の家族の方、この人達に面会に来られる方、当院でのインフルエンザ流行を予防するために、インフルエンザワクチン接種にご協力下さい。よろしくお願いします。

(院長 庵原 俊昭)